Mr. Bassman（ベースマン列伝） Vol.27

ジャズにおいてベース弾きとは、縁の下の力持ち、水先案内人といったやや日陰の存在。おまけに、ウッドベースなら持ち運びも大変…。だが、黙々とベースをウォーキングさせ、バンドをスイングさせることに魂を注ぐベースマンが、一度化けの皮を剥ぐともの凄い名演･名盤が生まれるのだ。このコーナーでは、そんなジャズ・ベースマンの偉業を称えるとともに、ジャズ・ベースの素晴らしさを伝えていきたい。

Christian McBride【クリスチャン・マクブライド】

Photo by Anna Webber

Profile

1972 年 5 月 31 日、米国ペンシルベニア州フィラデルフィアで生まれる。本名は Christian Lee McBride。父親 Lee Smith と叔父 Howard Cooper もベーシストという環境で育つ。16~17 歳の時に NY のジュリアード音楽院に入学。同校でクラシックを学びながらボビー・ワトソン等と演奏を重ね、10 代でプロ活動をスタート。フレディ・ハバード、ソニー・ロリンズ、レイ・ブラウン、ロイ・ヘインズ、チック・コリア、ハービー・ハンコック等と共演し、20 歳前後で早くもジャズ・シーンの第一線で活躍し始める。更にペニー・グリーン・トリオやジョシュア・レッドマンのグループ、スティングとの共演、R&B シーンでもアイザック・ヘイズ、チャカ・カーンやレイラ・ハサウェイ等との共演で注目を集め、1995 年に初リーダー・アルバム『ファースト・ベース』を発表。その後もアコースティックだけでなく、エレクトリック・ベースも導入し、数多くのアーティストのサイドマンとしては勿論、自己のバンド（クリスチャン・マクブライド・バンド～クリスチャン・マクブライド＆インサイド・ストレート）での活動やリーダー・アルバムもコンスタントに発表し、ジャンルを超えて活躍し続けている。最新作は自身のビッグ・バンドを率いて録音した『The Good Feeling』。来日の機会も多く、今後の活躍にも大注目の存在。

現代最高＆最強の売れっ子ジャズ・ベースマン！

≪ボクシングで例えるなら超ヘビー級チャンピオン！≫

本誌編集長にとっても思い出深いベースマンのひとりのクリスチャン。NY に住んでいた 90 年代初頭から中頃の時期は、“ポール・チェンバースの再来！”という呼び声と共にクリスチャンが彗星の如くジャズ・シーンに登場して大活躍し始めた時期と重なり、その生のベース音を何度も体感させてもらった。また、当時ウェイターをしていたレストランがレコーディング・スタジオに近かったこともあって、ブライアン・ブレイドやダイアナ・クラール等と時々顔を出してくれ、クリスチャンがソロ・デビュー直前にブルックリン美術館で行ったライヴを撮影したビデオを手渡したこともあった…。

そして何といっても、握手をした時の衝撃は忘れられない。柔らかく分厚いグローブのような感覚。指の太さは 2 倍以上に感じた。この指でウッドベース弦を弾けば「そりゃ、あんな凄い音が出るに決まってる！」と確信した瞬間でもあった。10 代の頃にはボクシング・ジムに通っていたそうで、ベースマンの命である指の怪我の心配もあって諦めたようだ。ボクサーの道を歩んでいたとしても大成したであろうが、今やジャズ・シーンでは“超”が付くようなヘビー級チャンピオン的ベースマンであることは間違いない。ナイスガイでもあり、ベース音と同じくその肉声も太く低く腹の底からズシリと響き、ヴォーカリストとしてもいけるはず。　【Official Website of Christian McBride ⇒ http://www.christianmcbride.com/】

Melissa Walker

本誌のタイトルにも馴染み深そうな名前を持つ Melissa Walker（メリッサ・ウォーカー）とは、女性ジャズ・ヴォーカリストであり、何を隠そうクリスチャンの妻である。2 人は 2005 年に結婚、「Glen Ridge Congregational Church」で式を挙げている。右ページでクリスチャンも参加している彼女の 2009 年のアルバムを紹介しているが、同じく右ページで紹介しているクリスチャンの現時点での最新アルバム『The Good Feeling』にはメリッサも参加し、素晴らしいヴォーカルを披露している。2 人の仲むつまじい姿が微笑ましい限りだ。

大の JB ファン

ジャズマンには変わった趣味を持っていたり、収集家がも多いが、クリスチャンが大の「JB ＝ジェームス・ブラウン」ファンであることは有名だ。ベーシストであった父親や叔父の影響もあるのだろうが、幼い頃から集めた JB の LP コレクションは相当なものだそうだ。HP にも今は亡き JB とのツーショット写真も掲載されている。ちなみに、マーカス・ミラーは F1、ブランフォード・マルサリスはベースボール・カード収集、ソニー・ロリンズは相撲、クリフォード・ジョーダンは盆栽、ジョン・ゾーンは日活ロマン・ポルノ収集という趣味を持っている。

CM's Great Album

これまでソロとして 10 枚のアルバムをリリースしているクリスチャン。作品ごとに新たなチャレンジを試み、ベースも進化し続けている。今後も多くの名作を生み出していくことだろう。

クリスチャンの記念すべきファースト・リーダー・アルバム

ファースト・ベース
クリスチャン・マクブライド

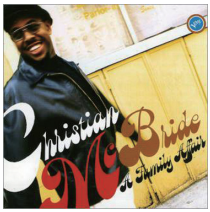
(ユニバーサル・ミュージック : POCJ-1252)

クリスチャン・マクブライド、ミルト・ヒントン、レイ・ブラウン (b)、ジョシュア・レッドマン (ts)、ロイ・ハーグローヴ (tp)、他

1. イン・ア・ハリー 2. ザ・シェイド・オブ・ザ・シダー・トゥリー 3. トゥー・クロース・フォー・コンフォート（他、全 10 曲）

1994 年に録音されたクリスチャンの衝撃の初リーダー・アルバム。当時共に切磋琢磨していた盟友ジョシュア・レッドマン (ts)、ロイ・ハーグローヴ (tp) も参加。抑えきれないパワーと自信が漲る如く、冒頭の「イン・ア・ハリー」からいきなりアルコとピチカートでぶっ放し、アルコのソロも披露する。自信のアイドルであるジェームス・ブラウンに捧げた「ゲッティン・トゥ・イット」、ジャズ・ベースの 2 大巨匠ミルト・ヒントン＆レイ・ブラウンとの共演した「スプランキー」も秀逸。若きクリスチャンの魂が刻まれた快作！

エレキ・ベースも導入した快作クリスチャンのサード・アルバム



ファミリー・アフェアー
クリスチャン・マクブライド

(ユニバーサル・ミュージック : POCJ-1415)

クリスチャン・マクブライド (b)、ティム・ウォーフィールド (ts)、ラッセル・マローン (g)、チャールス・クレイグ (p)、他

1. アイム・カミング・ホーム 2. ドリーム・オブ・ユー 3. ファミリー・アフェアー 4. テーマ・フロム・アワ・フェアリーテイル 5.（他、全 11 曲）

ジェームス・ブラウンの音楽を愛してやまないクリスチャンらしく、ソウル・ミュージックを意識したジャケットのデザインもカッコよく、一発目の「アイム・カミング・ホーム」から凄まじくファンキーな乗りを放つ 1998 年録音のクリスチャンのサード・アルバム。自慢のアコースティック・ベースだけでなく、本格的にエレキ・ベースも導入し、新たな一面を見せた作品でもあり、圧倒的なパワーが漲っている。全 11 曲収録で、スライ＆ザ・ファミリー・ストーンのタイトル曲やスティーヴィー・ワンダーの名曲「サマー・ソフト」も最高！

ビッグ・バンドを率いて放ったクリスチャンの現在最新アルバム

The Good Feeling
Christian McBride Big Band

(Mack Avenue : MAC-1053 [Import CD])

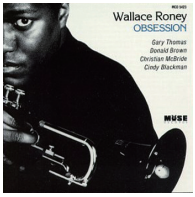
Christian McBride (b)、Steve Wilson、Todd Bashore (as, fl)、Ron Blake (ts、ss、fl)、Todd Williams (ts, fl)、他

1. Shake 'N Blake 2. Broadway 3. Brother Mister 4. When I Fall In Love 5. Science Fiction（他、全 11 曲）

2011 年「Mack Avenue Records」よりリリースされたクリスチャンの現時点での最新録音アルバムで、総勢 18 名からなる自身の名を冠したビッグ・バンドを率いて録音された渾身の一枚。これまでリーダー作で取り上げたナンバーも含め、全 11 曲を収録。3 曲に参加している妻メリッサ・ウォーカーのヴォーカルにも注目。ジャズ・ベーシストとしてビッグ・バンドを率いることも珍しいが、自身のビッグ・バンドを率いることが夢というジャズマンも多い中、それだけの資質を十分に備えているクリスチャンならではの傑作。

CM's Support Album

サイドマンとして既に数え切れないほど多くの作品に参加し、多くの名演・名盤に名を刻んでいるクリスチャン。直ぐに彼だとわかるベース音、強烈なほどの存在感が凄い。



Obsession
Wallace Roney

(Muse Records [Import CD])

1990 年録音。ウォレス・ルーニー (tp) のアルバムで、クリスチャンの記念すべき初レコーディングとなった作品。ドラムはシンディ・ブラックマン。

Testifyin'! : Live at the Village Vanguard
The Benny Green Trio

(Blue Note Records [Import CD])

ベニー・グリーン (p) トリオの 1991 年のライヴ盤で、クリスチャンとカール・アレン (ds) が参加。クリスチャンをフィーチャーした「McThing」が最高！

ジョシュア・レッドマン
ジョシュア・レッドマン

(ワーナーミュージック : WPCP-5288)

1992 年録音。クリスチャンの盟友ジョシュア・レッドマン (ts) の輝かしいデビュー・アルバム。その後も数々の作品で共演し、名演を残している。

・・・オール・ディス・タイム
スティング

(ユニバーサル・ミュージック : UICY-91246)

2001.9.11、NY テロ当日に録音されたスティングのライヴ盤。クリスチャンの他、クリス・ボッティ (ts) 等も参加。ジャズ色が強いアレンジも魅力。

In The Middle Of It All
Melissa Walker

(Sunnyside Records [Import CD])

2008 年録音。クリスチャンの妻でもあるメリッサ・ウォーカー (vo) のアルバム。夫であるクリスチャンはベースの他、ライナー・ノーツも手がけている。

リフ・アンド・レット・リフ ~ ラヴ・フォー・ジャパン
小曽根真

(ユニバーサル・ミュージック : UCCJ-2089)

2011.3.11 に起きた東日本大震災の被災者支援の為、小曽根真 (p) の呼びかけでクリスチャンをはじめ世界中のアーティストが集結し録音された作品。